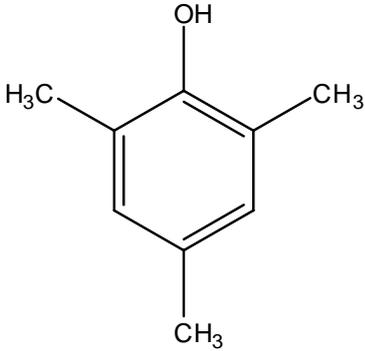


反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験(OECD TG422)データシート

官報公示 整理番号	3-540 4-57 9-1783 9-899	CAS No.	527-60-6
名称 構造式等	名称：2,4,6-トリメチルフェノール 別名：2,4,6-Trimethylphenol 分子量：136.20 分子式：C ₉ H ₁₂ O 構造式： 		
外観	白色微細な針状結晶		
溶解度	水に微溶(1200mg/L、25)、アルコール、エーテルに可溶		
分解性	難分解性		
蓄積性	低濃縮性		
純度	99.8%		
用量設定 試験	投与用量	0, 100, 300, 600, 1,000 mg/kg/day	
	投与期間	14 日間	
	主な結果	1,000：腹臥位(), 自発運動低下(), 歩行異常(), 体重 (), 摂餌量 (), 前胃の壁の肥厚(), 胃の境界縁の肥厚(), 前胃粘膜あるいは胃の境界縁の黄色化(), 呼吸不整(), ALT (), 肝臓 g (), 盲腸の膨満(), 胸腺の小型(), ALP (), T-Cho (), TG (), 前胃あるいは腺胃粘膜のびらん・潰瘍 () 600：腹臥位(), 自発運動低下(), 歩行異常(), 体重 (), 摂餌量 (), 前胃の壁の肥厚(), 胃の境界縁の肥厚(), 前胃粘膜あるいは胃の境界縁の黄色化(), ALT (), 前胃あるいは腺胃粘膜のびらん・潰瘍(), 盲腸の膨満() 300：胃の境界縁の肥厚()	
反復経口投与毒性・生殖発生毒性併合試験 (ReproTox)			
投与	使用動物	CrI:CD (SD)ラット、投与開始時 9 週齢	
	投与方法	強制経口投与 溶媒：精製水(0.1w/v%Tween80 添加 0.5w/v%CMC-Na)	
	投与用量	0, 10, 60, 300 mg/kg/day, 回復群 0, 300 mg/kg/day (R300)	
	投与期間	42 日間、 42-54 日間 (哺育 4 日)	

反復投与 毒性 主な結果	一般状態	: 流涎(300) : 流涎(300), 歩行異常(300)
	行動機能 観察	影響なし
	体重	影響なし
	摂餌量	影響なし
	尿	影響なし
	血液学	影響なし
	生化学	影響なし
	臓器重量	影響なし
	病理組織	: 前胃の水腫(300), 腺胃の globule leukocyte (300), 腺胃胃小窩上皮の過形成(300), 前胃扁平上皮過形成(60, 300) : 腺胃のびらん(300), 腺胃胃小窩上皮の過形成(300), 前胃扁平上皮過形成(60, 300)
標的臓器	胃	
生殖発生 毒性 主な結果	親動物	影響なし
	児動物	影響なし
NOAEL		反復投与毒性: 10, 10 生殖発生毒性: 300
	推定根拠	反復投与毒性 60: 前胃扁平上皮過形成 生殖発生毒性 毒性影響なし
NOEL		反復投与毒性: 10, 10 生殖発生毒性: 300
	推定根拠	反復投与毒性 60: 前胃扁平上皮過形成 生殖発生毒性 影響なし
備考		

本データは、平成 19 年度ハザードデータ評価委員会（独立行政法人製品評価技術基盤機構）で評価された。